



年 組 名前

# 道新でワークシート



網走市と網走バスが実証実験で運行している予約制バス「網走どこでもおでかけ」が「こバス」の利用者が、本年度に入ってから急増している。4月からの運行エリア拡大や定期券の販売開始などが後押ししている。

どこバスは、利用者が電話かスマートフォン専用サイトで乗降場所や人数を予約すると、指定されたバス停にワゴン車（11人乗り）が向かい、利用者を目的地まで運ぶ。人口減少などで路線バスの利用者が減っていることを受け

## 網走の予約バス好調



4月からは従来の運行エリアだった住宅街や病院、スーパーマーケットが多くある市中心部（Aエリア）に、博物館網走監獄やオホーツク流水館などの観光施設がある呼

本年度は新たに定期券を作成した。一般は月6千円、65歳以上は4500円、アプリのみで予約する人は一般5千円、65歳以上は4千円で乗り放題となる。

市商工労働課によると、通院や買い物をする高齢者など、1日5〜6回利用する人もいるという。加えて、通勤・通学で使う路線バスの定期券

運行エリア拡大などで4月から利用者が増えているどこバス

## 運行エリア拡大が奏功

### 定期券販売 観光客利用も

た、バスの効率的な運行を図る取り組みで、2020年度から3カ年計画で実施。本年度は実証実験の最終年度となる。

人、天都山エリア（Bエリア）を新たに追加した。各エリア内は1回500円、エリアをまたぐと同700円で利用できる。

を提示した場合、どこバスに1回100円で乗車できる制度も導入し、大学生や高校生の利用増にもつながっている。

サービスの拡大が功を奏し、4〜6月の予約件数は月平均で2587件と、昨年度の月平均708件から大幅に増加した。6月の利用者内訳は、定期券（891件）が3割を占め、通学・通勤定期の提示利用（619件）も2割となった。

行楽シーズンに向けて観光客の利用も促そうと、6月には観光向けの1日乗り放題券（大人1500円）の販売も開始。同月だけで162件の利用があった。

市商工労働課の担当者は「エリアを拡充したことで、観光客もどこバスを使いやすくなった。高齢者から若者まで幅広い世代から意見を聞き、来年度以降の交通のあり方を検討していきたい」と話している。（池野上遥）

2022年7月28日（木）朝刊 北見・オホーツク版 17ページ（記事は再編集しています）

①見出しに「予約バス好調」とありますが、その理由を二つ書きましょう。

・  
・

②人口減少などで路線バスの利用者が減っています。「交通」をテーマにして、暮らしが便利で安心して利用できる方法を考え、一つ書きましょう。